

2. 教育普及事業

(1) 郷土史研究会

月に1回、当館学芸員または市内外の郷土史家や歴史研究者を講師とし、岩国に関する地方史の研究会を実施。昭和43年(1968)から始まり、現在に至る。聴講は無料・事前申込要。

令和4年度郷土史研究会

開催回	開催日	テーマ・講師	聴講者数
第650回	4月17日	妙円寺月性と防長の真宗ー明治維新期の西本願寺教団ー 講師：小林 健太 氏（京都ノートルダム女子大学非常勤講師）	36
第651回	5月15日	写真で見る山代～『錦町史民俗編』のころ～（続） 講師：金谷 匡人 氏（元山口県文書館副館長）	34
第652回	6月19日	近世岩国の軍学からみる城 講師：濱保 仁志（岩国徴古館学芸員）	33
第653回	7月17日	「松陰」が今の岩国へ残した『足跡』 講師：友定 英章 氏（元中央公民館小瀬分館長）	40
第654回	8月21日	独立性易禅師の篆刻と岩国 講師：大石 紗蓼 氏（五橋文庫館長）	34
第655回	9月18日	大内氏家臣弘中氏と西郷氏 ー「西郷家文書」所収「弘中家文書」の歴史を紐解くー 講師：田村 杏士郎 氏（山口市歴史民俗資料館学芸員）	35
第656回	10月16日	鎌倉武士吉川家が拝領した領地について1 講師：杉山 京子 氏（岩国地旅の会会長）	35
第657回	11月20日	吉川元長と吉川経家 講師：原田 史子 氏（吉川史料館主任学芸員）	39
第658回	12月18日	鎌倉武士吉川家が拝領した領地について2 講師：杉山 京子 氏（岩国地旅の会会長）	34
第659回	1月15日	埴輪の世界ー全国各地の埴輪と山口県の埴輪ー 講師：石井 龍彦 氏 (財団法人山口県ひとづくり財団山口県埋蔵文化財センター次長)	34
第660回	2月19日	岩国徴古館所蔵の朝鮮通信使関係資料 講師：松岡 智訓（岩国徴古館学芸員）	46
第661回	3月19日	近世岩国の人々と読書 講師：枝元 咲（岩国徴古館学芸員）	38
合計(人)			438

(2)古文書講座

月に1回、当館学芸員を講師とし、当館所蔵の古文書をテキストに読み方や読解力を身に付ける講座を開催。はじめて古文書を学ぶ方を対象とした「基礎講座」と基礎事項を復習しながら古文書を実践的に読み進める「初級講座」に分かれ、受講者のレベルに合わせた講座進行で実施。テキスト代（半期）500円・事前申込要。

令和4年度の古文書講座

	開催月												合計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
基礎講座	20	23	25	30	25	29	28	23	25	30	25	27	310
初級講座	17	17	15	15	16	11	15	16	14	13	14	13	176
合計	37	40	40	45	41	40	43	39	39	43	39	40	486

(3)博学連携

学校と博物館が相互理解・協力し、未来を担う子供たちに郷土の歴史等に関心を持ってもらうために、出前講座や体験教室、館内利用などを積極的に実施するもの。博物館においては施設や資料の周知、積極的な活用にもつながる。

① 学校行事（社会見学・職場体験など）

小学校	4件	281人
中学校	4件	9人
高等学校	1件	15人

② 出前授業

小・中学校	17件	1,009人
高等学校	3件	198人
専門学校	1件	40人

(内容)

- ・ 岩国市の成り立ちと歴史
- ・ 通津の歴史と文化
- ・ 岩国城下町・錦帯橋
- ・ 東地区の今と昔
- ・ 江戸時代の古地図を読む
- ・ 藤岡市助
- ・ 尾津の開拓
- ・ 掛軸体験
- ・ 玖珂の歴史
- ・ 鋳造体験
- ・ 玖北の歴史

③ 学校教諭・教員の研修

小・中学校	4件
-------	----

④ 博物館実習生の受け入れ 5人

期間：令和4年8月24日（水）～9月2日（金）※土・日・月曜日を除く全7日間

実習展示 場所：中2階展示室

テーマ：錦帯橋と四季

⑤ 岩国徴古館主催体験行事（企画展連動講座を含む）

- ・ 和綴じ体験 1回 8人
- ・ 甲冑体験 8回 8人
- ・ 鋳造体験 2回 26人
- ・ 掛軸体験 2回 4人
- ・ 錦帯橋の版画・浮世絵スタンプ体験（錦帯橋芸術祭2022）11月6日（日） 13人
- ・ こども古文書講座 1回 1人

⑥ その他学芸員派遣 4件

- ・ 愛宕地区まちづくり協議会
- ・ 岩国ライオンズクラブ
- ・ 面高会
- ・ 大竹市歴史研究会

⑦ 制作教材 鋳造体験古銭シリコン型製作

3. 調査研究事業

（1）調査研究報告

①「岩国徴古館調査報告書（第3号）」刊行

論考

- ・ 近世岩国における軍学の採用とその背景 学芸員 濱保仁志
岩国領における軍学の系譜とその主たる軍学の流派の導入や採用された背景を考察

研究ノート

- ・ 近世岩国における書籍をめぐる状況 学芸員 枝元咲
岩国徴古館収蔵資料をもとに、江戸時代の岩国における書籍の普及や活用について、現時点で確認できる資料から分かる事例を整理して紹介

資料紹介

- ・ 芸州口の戦いに関する資料 3 学芸員 松岡智訓
慶応2年（1866）6月に開戦した第二次長州征討（幕長戦争・四境戦争）に関する岩国徴古館所蔵資料の内、「御用所日記（慶応2年）」の後半部分について翻刻して紹介

②資料集「岩邑怪談録」再刊行

昭和51年（1976）に「岩邑怪談録」として当館から発刊し、すでに絶版となっていた資料集を再刊行。原資料である「岩邑怪談録」の翻刻と原本掲載の挿絵を収録したものを資料集として作成。

③ブックレット「岩邑怪談録」刊行

上記資料集「岩邑怪談録」の中から20話を選び、翻刻および現代語訳と原本掲載の挿絵やイラストを加筆収録したものをブックレットとして作成。

（2）研修会・講演会

- ・ 令和4年度 博物館・美術館等保存 担当学芸員研修 基礎コース（8月1日～5日） 受講
主催：独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター
- ・ I P Mセミナー（11月15日） 参加
主催：九州国立博物館 共催：文化庁・東京文化財研究所